



口加だより

平成28年6月30日発行
長崎県立口加高等学校
第3号



Think Globally, Act Locally.

そして、Think Locally, Act Globally.

校長 下釜祐保



高総体が終わった。陸上部競技部女子が総合第3位（フィールド第1位）に輝いた。特に、女子砲丸投げ種目での1、2、3位独占は圧巻であった。また、バスケットボール部男子は、シード校を退けてベスト8入りした。今年も、高校生の県内最大のスポーツの祭典高総体で、口加高校チームの健闘と活躍が光った。各部の活躍ぶりは2枚目をご覧ください。これからさらに、真夏のインターハイに挑戦する生徒もいる。全国大会という舞台上、存分の活躍を期待したい。

さて、次年度の入学生に魅力的なチャンスが訪れる運びとなった。本校普通科に、本県初の“グローバルコース”を設置し、1クラス40名を募集する。「グローバル」という名称は、グローバル（global）とローカル（local）との造語である。グローバルだけではなく、ローカルだけでもない。「地球規模の視野をもって、地域に貢献」し、同時に「地域社会の課題から学び、世界で活躍」する若者を輩出したいという理念を本コースの源に置いている。

いま高総体を終えた3年生は、各自の進路実現へ向けてエネルギーを燃やしている。1、2年生も、新チームの創生と自らの高校生活の充実青春の汗を流している。高総体直後の指導で「切り替え」などという言葉がよく使われるが、全く違う道を歩むのではない。自らの人生をグローバルに例えるなら、高総体にかけてエネルギーも進路実現への努力もそれを構成するローカルなのだ。高校生としての日々（ローカル）を全力で生きること自らの適性や可能性（グローバル）を探ることこそ、高校時代にやるべき最も大事なことなのである。

最近のニュースでよく扱われている参院選が目前に迫った。公職選挙法の改正により、選挙権が18歳まで引き下げられた最初の選挙である。本校にも選挙権を持つ3年生がたくさん在籍している。この選挙もまた、グローバルな視野で1票を投じるのであるが、この1票1票が社会を創っていることを忘れてはならない。

合い言葉は“Think Globally, Act Locally”そして“Think Locally, Act Globally”。大いなる夢を持ち、日々の努力を着実に実行していきたいものだ。



学年だより

～第1学年より～ 文武両道

高総体が終わりました。野球部など、まだまだ3年生が主役の部活もありますが、ほとんどの部では1・2年生を中心とした新体制が発足しています。新人戦や来年の高総体に向けて本格的に始動し、一生懸命に頑張っているところでしょう。また一方で、7月には模擬試験があり、それに向けての課題や補習に一生懸命に取り組んでいるのではないのでしょうか。勉強と部活を両立させるために悩んだり、苦しんだりすることもますます多くなってくると思います。

そこで、文武両道について私の意見を一つ。私は、文武両道とは読んで字のごとし「文（勉強）も武（部活）も同じ道ですよ」という風にとらえています。つまり勉強も頑張れるのであれば部活も頑張れるはず！部活で身に付けた能力は勉強にも活かされるはず！という感覚です。「それはそれ。これはこれ。」と考える方が楽かもしれませんが感情的には割り切れないところもあります。だからこそ関係のないものでもつながりを感じることができれば、すべてポジティブにとらえられるのではないかと思います。1年生がしんどいことも楽しめるような人間に育ってくれるとうれしいです。

（第1学年主任 松本 辰哉）

～第2学年より～ 見通す力、計画する力、実行する力

高総体が終了し、多くの部活動で世代交代が行われています。2年生は、3年生が築き上げてきた部活動の伝統を受け継ぎ、1年生とともに新たな自分たちのページを作っていく立場となりました。これまでは、3年生の指示に従い練習に励む立場でしたが、今度は、自分たちが指示をする立場です。そのためには、次の大会での勝利など大きな目標を掲げ、何をいつ練習し、どのような力をつけるかを考え、実行することが大切です。何も考えず、ただ体を動かすだけでは、単なる時間の浪費であり、結果は出ません。このことは、学習でも同じことがいえるでしょう。実力試験などで結果を出すために、何をどの時期にどれだけ伸ばすかを逆算し、学習に取り組むのですから。2年生は、これらの具体的なことを始めたばかりです。部活動であっても、学習であっても、しっかりと仲間と話し合い、目標を立て、練習・学習をして、目指す結果をつかんで行ってほしいと思います。

（2年2組担任 松永 浩司）

～第3学年より～ 最後の高総体を終えて

3年生にとって最後の高総体が終わりました。

最後の1秒まで歯を食いしばり、集中する選手の姿は本当に素敵でした。祈りを込めて声援を送る人々の目も輝いていました。

この3年間、仲間とけんかをしたり、自身のふがいなさにうつむいたりしたこともあったでしょう。不本意な結果に終わった人もいましたか。コートに入れず、力を発揮することさえできなかった人もいたかもしれません。でも、3年間、一つのことに情熱を傾けることができたこと、そんな自分を懸命に応援してくれる人がいたこと、それは紛れもなく宝物です。誇りに思ってください。

これから行われる行事は、すべて、3年生にとっては「最後の・・・」という冠が付きます。全力で取り組みましょう。悔いなき日々をすごしましょう。

（3年2組担任 副田 麻由美）

6月の行事

高総体報告会

6月9日(木)

高総体を終え、各部のキャプテンが代表として結果報告を行ってくれました(詳細な結果は6月号その2に載せています)。各キャプテンとも、今までの感謝と後輩へ託す思いを語り、次のステップへの決意を感じました。



熊本ボランティア

6月8日(水)

1～3年生の希望者20名が、熊本地震で被災した熊本市東区において、片付けなどのボランティア活動を行いました。想像以上の被害の大きさに、改めて衝撃を感じながら、懸命に作業に取り組みました。少しでも役に立ちたいという思いを行動に移す大切さを学びました。



地区別高校説明会

【深江】6月13日(月)、【有家】14(火)、
【南有馬】15日(水)、【本校】22日(水)

上記4日間にわたり地区別の高校説明会を行いました。お忙しい中、また天候があまりよくない中、たくさんの保護者の方、中学生の方に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。

熱心に耳を傾けてくださって多くの質問をいただき、今後の説明会やオープンスクールに反映させていきたいと思えます。オープンスクールは8月8日(月)に予定しておりますが、学校施設の見学や入試についての質問等は随時対応しておりますので、お気軽にお声掛けください(担当:教務部主任 久部利恵子 86-2180)。

※6月21日(火)に予定していたハマユリックスでの説明会は、前日の荒天による交通事情のためやむなく延期となり、6月30日(木)19:00～20:00に本校EZ教室で行いました。



Eikaiwa Nights

6月10、17、24(金)

英語教室(EZ)にて、成人大学講座(Eikaiwa Nights)が行われました。本校自慢のEZの設備を実際に使ってもらいながら、ローレル先生と楽しく英会話を学んでいただいています。

残り2回【7月1、8日(金)】で終了です。今後また企画した際にはご参加よろしくお願ひします。



3年生進路講演会

6月16日(木)

3年生の進路講演会が開催されました。今年度は、(株)さんぼう専任講師 宮崎照行先生をはじめとして、長崎女子短期大学や武雄看護リハビリテーション学校、公務員ゼミナール諫早校から講師の方に来て頂きました。大学や短期大学、専門学校、就職・公務員についての説明を受け、また就職・公務員模擬面接指導など実践的な講習をしていただきました。今後の進路選択にとって有意義な時間となりました。



今月の生活創造コース・家庭クラブ

○3年生(生活創造コース)

12日 家庭科技術検定 洋服2級

22日 アイマスク体験

「生活と福祉」の授業の一環としてアイマスク体験を口之津老人福祉センターで行いました。

○2年生(生活創造コース)

10日 若木保育園訪問

○1年生(全員)

13・20日乳幼児ふれあい体感事業

赤ちゃん抱っこ体験やお母さんへのインタビューなどを行いました。



平成29年度新設のグローバルコースについて

6月2日(木)に県教育委員会から発表された通り、平成29年度本校に新たに普通科“グローバルコース”が設置されます。

口加高校の伝統ある普通科教育を継承しつつ、新しい時代のニーズに沿った下記の素養を育成することを目標に掲げ、取り組んで参ります。

○ 地球規模の視野で考え、故郷を愛し故郷に貢献する。(Think Globally, Act Locally.)

○ 地域社会の課題から学び、地球規模で活動する。(Think Locally, Act Globally.)

7月5日(火)11:50～12:40に、本校英語教室(EZ)にて、中学校の先生方を対象に説明会を開催いたします。詳細は、HPを見ていただくか、学校までお問い合わせください。

(担当:教頭 吉田繁守 電話:86-2180)

インターハイ出場決定おめでとう!!

第69回北九州高校総体陸上競技大会

(H28年6月16日～19日、佐賀県総合運動場陸上競技場)において、

3年生の渡部真実さんが女子砲丸投(記録11m85)と女子円盤投(記録33m16)、

そして松田珠伶さんが女子800m(記録2:14.46)で6位入賞を果たし、

インターハイへ出場を決めました。陸上競技は、7月末から岡山県で開催されます。



職員ペンリレー

「熊本地震から」 — 山内 徹 —

2011年の東日本大震災の記憶も残る、今年4月14日21時26分に起きた熊本地震では、海を隔てた南島原市でも大きな揺れを観測しました。熊本県の住民の方々の怒りや苦しみ、辛さは計り知れません。記録的な雨量を観測している現在も、毎日報道される悲惨な様子に胸を痛める日が続いています。

一方で、報道されている被災者の目にはすでに涙はなく、希望が写っているように感じます。大きな被害を受けながらも前を向き、近隣住民と協力しながら復興へ立ち上がっている被災者の方々の姿から、私は2つのことを学びました。まずは、どんなに辛く、悲しい出来事が起ころうとも、人はその壁を乗り越えようとする力をもっているということ。二つ目に、想像を遥かに上回る惨事に見舞われ、胸を痛めた経験をもつ人は、強さと優しさをもつということ。熊本地震は、改めて自分自身を見直すきっかけとなりました。

この伝統ある口加高校で生徒とともに、成長の階段を歩んでいきたいと思ひます。